

山形大学歴史・地理・人類学論集

第20号 別刷

松尾剛次教授主要業績目録

松 尾 剛 次

山形大学歴史・地理・人類学研究会

2019年3月

松尾剛次教授主要業績目録

A List of Professor Kenji Matsuo's Main Works



著作リスト前書き

松尾剛次
MATSUO, Kenji

平成という元号も終わりを告げる今年だが、私も38年間勤めた山形大学を去ることになった。第2の故郷である山形での暮らしの方が、第1の故郷である長崎よりもはるかに長くなった。27歳で教養部に着任し、44歳で人文学部教授となり、65歳で無事退職できると思うと、ホッとした感がある。

在職38年間での最大の思い出は、150人を超えるゼミ生を育てたということであろう。「教育は共育だ」とは先輩たちによく言われたものだが、身にしみて本当だと思う。優秀な学生たちに恵まれ、いろいろな示唆を受けることができ、著作リストに挙がる多くの著書・論文を書くことができた。学生たちの質問や教示が無ければ書けなかったであろう論文もある。

第2の思い出は、多くの同僚たちとの出会いである。とりわけ、62歳で亡くなった石黒満教授には、本当にすばらしい御教示を数多く受けた。煙草を吸いながら、コーヒーを飲む石黒教授の姿が今となってはなつかしい。

第3の思い出は、4回に亘る海外長期滞在である。いずれも、客員として、プリンストン大学、ロンドン大学、北京外国語大学、ニューヨーク州立大学で、日本文化論を担当した。北京外国語大学以外は英語での授業であり、大いに苦勞したが、その講義ノートが『A History of Japanese Buddhism』に結実した。

以上で、著作リストの前書きを終えよう。

平成31年2月3日

著書(断らぬ限り単著)

- 1 『鎌倉新仏教の成立——入門儀礼と祖師神話』、吉川弘文館、1988 pp1-303
- 2 『中世都市鎌倉の風景』、吉川弘文館、1993 pp1-219
- 3 『鎌倉新仏教の宗教史的考察』1994(本書により東京大学より文学博士号を取得。のち『新版 鎌倉新仏教の成立』として出版)
- 4 『勸進と破戒の中世史——中世仏教の実相』、吉川弘文館、1995 pp1-408
- 5 『鎌倉新仏教の誕生 勸進・穢れ・破戒の中世』、講談社新書、1995 pp1-201

- 6 『救済の思想——叡尊教団と鎌倉新仏教』、角川書店、1996 pp1-182
- 7 『中世都市鎌倉を歩く』、中公新書、1997 pp1-184
- 8 『新版 鎌倉新仏教の成立』、吉川弘文館、1998 pp1-345
- 9 『中世の都市と非人』、法蔵館、1998 pp1-237
- 10 『仏教入門』岩波書店、1999 pp1-197（張潔さんによって2016年3月中国語に翻訳された。中国語版『仏教入門』山形大学出版会、2016年 pp1-156）
- 11 『仏教用語の基礎知識』、角川書店（共著）、2000
- 12 『太平記』中央公論新社、2001 pp1-181
- 13 『「お坊さん」の日本史』NHK出版、2002、9/10、pp1-199（2005年に金浩星氏により韓国語へ訳された）
- 14 『日本中世の禪と律』吉川弘文館、2003 pp1~252
- 15 『忍性』ミネルヴァ書房、2004 pp1-222
- 16 『鎌倉古寺を歩く 宗教都市の風景』吉川弘文館、2005 pp1-205
- 17 『四国八十八札所遍路の思想史的研究』坂部印刷、2006 pp1-44
- 18 『日本社会における仏と神』吉川弘文館（共著）、2006 pp80-124
- 19 『A History of Japanese Buddhism』GLOBAL ORIENTAL LTD、2007、pp1-264 (Japanese Journal of Religious Studies 36/2 (2009) でRobert Rhodes氏によって書評された)
- 20 遊学館ブックス『祈りにみる山形』（財）山形県生涯学習文化財団（共著）2008
- 21 『破戒と男色の仏教史』平凡社、2008 pp1-207（※2008年12月7日読売新聞・山形新聞で書評されました。）2017年3月李慈郎さんによって韓国語に訳された。
- 22 『山をおりた親鸞 都をすてた道元』、法蔵館、2009 pp1-201
- 23 遊学館ブックス『もがみ川～記憶と再発見～』（財）山形県生涯学習文化財団（共著）2009
- 24 『親鸞再考 僧にあらず、俗にあらず』日本放送出版協会、2010 pp1-189
- 25 遊学館ブックス『観る光らす 山形』（財）山形県生涯学習文化財団（共著）2010
- 26 新アジア仏教史12日本Ⅱ『躍動する中世仏教』佼成出版社（共著）2010
- 27 『中世律宗と死の文化』吉川弘文館、2010 pp1-266
- 28 『葬式仏教の誕生』平凡社新書、2011 pp1-167
- 29 遊学館ブックス『地域から世界へ 山形のモノづくりを通して』（財）山形県生涯学習文化財団（共著）、2011 pp1-381
- 30 『道の手帖親鸞——親鸞は何をした人だったのか——』河出書房新社（共著）2011
- 31 『知られざる親鸞』平凡社新書、2012、pp1-245
- 32 遊学館ブックス『地域学が担うもの』（財）山形県生涯学習文化財団（共著）、2013 pp1-214
- 33 遊学館ブックス『音学やまがた』（財）山形県生涯学習文化財団（共著）、2014 pp251-308
- 34 『山形学 山形における地域学の成立と展開』（財）山形県生涯学習文化財団（共著）2014 pp49-57

- 35 遊学館ブックス『食から考える山形』～足もとの食を見つめながら～ (財) 山形県生涯学習文化財団 (共著)、2015
- 36 遊学館ブックス『生きる道しるべ 老いと死と生』 (財) 山形県生涯学習文化財団 (共著)、2016
- 37 『家康に天下を獲らせた男 最上義光』 柏書房、2016 pp1-238
- 38 遊学館ブックス『時をつぐむ若者たち ともに創る山形の未来』 (財) 山形県生涯学習文化財団 (共著)、2016
- 39 『中世叡尊教団の全国的展開』、法蔵館、2017 pp1-560 追塩千尋氏により『仏教史学研究』59-2において書評さる。
- 40 『葬送儀礼と現代社会』 智山勸学会編 (共著)、青史出版、2017 pp3-39
- 41 遊学館ブックス『小説にみる山形』 (財) 山形県生涯学習文化財団 (共著)、2017
- 42 『鎌倉新仏教論と叡尊教団』 法蔵館、2019 pp1-550

編 著

- 1 『シリーズ 日本の仏教 I-VI』 法蔵館、1994~1996
- 2 『シリーズ 日本の仏教第二期 I-III』 法蔵館、1998~2001
- 3 『仏教辞典』 岩波書店、2002
- 4 『日本仏教34の鍵』 春秋社、2003
- 5 別冊歴史読本53『日本の寺院』 新人物往来社、2003
- 6 『叡尊・忍性』 吉川弘文館、2004
- 7 『思想の身体 戒の巻』 春秋社、2006
- 8 『仏教新発見23西大寺 西の大寺の巨大伽藍はなぜ残らなかったのか』 朝日新聞社、2007
- 9 『仏教新発見24建長寺 円覚寺 鎌倉幕府がつくった日本初の本格的禅刹』 朝日新聞社、2007

論 文 (対談をまとめた23、30を除いて基本的に単著のみ)

- 1 「中世非人に関する一考察——西大寺流による非人支配」『史学雑誌』89-2、1980 pp66-91
- 2 「室町幕府の禅律対策——禅律方の考察を中心にして——」『鎌倉』37、1981 pp1-36 (のち『日本古文書学論集7』〈吉川弘文館、1986年11月〉に採録)
- 3 「天皇支配権と中世非人支配」『日本歴史』394、1981 pp29-40
「開発と中世非人——日根野村絵図をめぐる」『山形大学史学論集』2、1982 pp19-28
- 4 「勸進の体制化と中世律僧——鎌倉後期から南北朝期を中心にして」『日本史研究』240、1982 pp28-52
- 5 「官僧と通世僧——鎌倉新仏教の成立と日本授戒制——」『史学雑誌』94-3、1985 pp1-46

- 6 「大乘戒壇と鎌倉新仏教の成立——大乘・小乗戒壇体制論補考」『山形大学史学論集』 5、1985 pp1-33
- 7 「中世得度制について——官僧・遁世僧体制の成立——」『三浦古文化』 41、1987 pp12-42
- 8 「中世筑前観世音寺・下野薬師寺両戒壇における授戒制」『中世寺院史の研究』 上、法蔵館、1988 pp75-115
- 9 「遁世僧と女人救済——新義華嚴を中心にして」『女性と仏教Ⅱ 救いと教え』、平凡社、1989 pp94-119
- 10 「『奥の細道』と宗教——神事（仏事）としての俳諧興行」『芭蕉』 1989 pp135-154
- 11 「恵鎮円観を中心とした戒律の復興——北嶺系新義律僧の成立」『三浦古文化』 47、1990 pp1-17
- 12 「鎌倉新仏教論の深化をめざして——平雅行氏の書評に答える」『史学雑誌』99編10号、1990 pp107-115
- 13 「中世延暦寺戒牒の古文書学的研究」『古文書研究』 34、1991 pp1-21
- 14 「宇都宮辻子御所考」『山形大学史学論集』 12 1992 pp1-9
- 15 「武家の「首都」鎌倉の成立」『都と鄙の中世史』、吉川弘文館、1992 pp96-140
- 16 「中世都市・鎌倉」『中世を考える 都市の中世』、吉川弘文館、1992 pp88-114
- 17 「結界の作法——常陸三村寺結界石と称名寺結界絵図」『日本歴史』 534、1992 pp19-35
- 18 「奈良西大寺末寺帳考——中世の末寺帳を中心に」『三浦古文化』 51、1992 pp13-30
- 19 「叡尊・忍性の社会救済事業を追う」（峰岸純夫・池上裕子編『新視点4 日本の歴史中世編』）1993 pp192-199
- 20 「説経節さんせう太夫と勤進興行」『列島の文化史』 9、1994 pp97-108
- 21 「官僧・遁世僧体制モデル——鎌倉新仏教論の新たなパラダイムをめざして」『日本の仏教1』法蔵館、1994 pp2-23
- 22 網野善彦、小松和彦氏ほかと特別討論「鎌倉仏教の再検討」『日本の仏教1』法蔵館、1994 pp71-97
- 23 「鎌倉新仏教と女人救済——叡尊教団による尼への伝法灌頂」『仏教史学研究』 37-2、1994 pp30-46
- 24 「『伴大納言絵詞』の「なぞ」を解く——もう一つの御霊信仰」『日本の仏教3』法蔵館、1995 pp93-108
- 25 「黒衣と白衣」『シリーズ・東アジア仏教 日本仏教論』春秋社、1995 pp262-280
- 26 「イニシエーションとしての授戒」『季刊 仏教33』法蔵館、1995 pp143-151
- 27 「叡尊の思想と教団」『平成七年度科学研究費補助金（総合研究A）研究成果報告書 古代から中世への転換期における仏教の総合的研究』 pp61-64
- 28 「中世仏教史のテキスト学」『日本の仏教5』法蔵館、1996 pp32-40

- 29 「仏教と葬式との関わりを見直す——「葬式仏教」の歴史的・民俗的再考」『日本の仏教 6』法蔵館、1996 pp188-211
- 30 「西大寺観尊像に納入された「授菩薩戒交名」と「近住交名」南都仏教』73、1996 pp87-107
- 31 「What is Kamakura New Buddhism? Official Monks and Reclusive Monks」『Japanese Journal Of Religious Studies』24 1997 pp179-189
- 32 「中世の都市的な場と宗教」『中世都市研究』4、新人物往来社、1997 pp117-142
- 33 「いわゆる尾張国富田庄絵図をめぐる——絵図制作のなぞと絵図にみる宗教世界——」速水侑編『院政期の仏教』、吉川弘文館、1998 pp411-437
- 34 「叡尊の思想——西大寺叡尊像納入文書などを使って」市川裕・鎌田繁編『聖典と人間』大明堂、1998 pp3-17
- 35 「『仏教と出会った日本』と出会った私」『仏教と出会った日本』法蔵館、1998 pp263-268
- 36 「中世都市鎌倉と寒河江・慈恩寺」『西村山地域史の研究』16、1998 pp2-15
- 37 「貞慶」『親鸞がわかる』朝日新聞社、1999 pp71-73
- 38 「立石寺絵図に見える「阿所河院」」『山形県地域史研究』24、1999 pp114-118
- 39 「渡来僧の世紀——蘭溪道隆」『歴史と地理』527、1999、pp1-13
- 40 「好相日記——夢記の世界」『日本仏教の史的展開』塙書房、1999、pp316-329
- 41 「安国寺・利生塔再考」(『山形大学紀要(人文科学)』14-3、2000)、pp85-106
- 42 「鎌倉の宗教世界」(『図説 北条時宗の時代』、河出書房新社、2000)、pp88-103
- 43 「宗教センターとしての都市鎌倉」(『歴史・文化ガイド 北条時宗の時代』、日本放送協会、2000) pp58-61
- 44 「四国遍路図考」『山形大学歴史・地理・人類学論集』2、2001 pp1-8
- 45 「Explaining the "Mystery" of Ban Dainagon ekotoba: Another Case of Belief in Vengeful Sprits」Japanese Journal Of Religious Studies 2001 28/1-2 pp103-131
- 46 「説経節『小栗判官』の成立再考」『境界と日本文学——画像と言語表現』国文学研究資料館、2001 pp55-67
- 47 「差別問題と仏教——叡尊教団による癩病患者の救済」『第四次中日青年論壇』中国社会科学院日本研究所 2001 pp310-315
- 48 Official Monks and Reclusive Monks: Focusing on the Salvation of Women Bulletin of the School of Oriental and African Studies 64/3 2001 10 pp369-380
- 49 「諸国安国寺考」『山形大学歴史・地理・人類学論集』3 2002 pp37-4
- 50 「中世都市鎌倉を歩く」学士会会報836 2002 pp93-113
- 51 「四国遍路八十八札所の成立——四国遍路絵図を手がかりとして」『宗教研究』333、2002 pp107-133
- 52 「中世律僧とは何か——興福寺大乘院と西大寺末寺——」中尾堯編『中世の寺院体制と社会』吉川弘文館 2002 pp30-47

- 53 「中世仏教史研究の歩み」『日蓮的あまりに日蓮的な』太田出版、福神研究所編 2003 pp173-194
- 54 「都市鎌倉」『日本仏教34の鍵』春秋社、2003 pp110-117
- 55 「山形寺町の形成」『山形大学公開講座（平成15年度）山形の魅力再発見報告集』坂部印刷、2004、pp 8-14
- 56 「四国遍路絵図に関する一考察」『山形大学歴史・地理・人類学論集』5 2004、pp15-24
- 57 「中世における死と仏教」『死生学研究』2004秋号、2004 pp 8-34
- 58 「興正菩薩勸尊御教誠聴聞集」訳注監修『日本仏教総合研究』2号、2004 pp97-152
- 59 「中世の山形——山寺・慈恩寺——」（『山形大学都市・地域学研究所公開講座 山形の魅力再発見パート2報告集』坂部印刷）2004 pp18-24
- 60 「羽黒修験の中世史研究——新発見の中世史料を中心に——」『山形大学大学院社会文化システム研究科紀要 創刊号』、2005 pp247-256
- 61 「四国遍路の成立と四国遍路絵図」『日本仏教総合研究』3号、2005 pp17-35
- 62 「博多大乗寺と中世都市博多」『鎌倉遺文研究』17号、2006 pp26-39
- 63 「西大寺光明真言過去帳の紹介と分析」、速水侑編『日本社会における仏と神』吉川弘文館、2006 pp80-124
- 64 「葉室浄住寺考」『山形大学歴史・地理・人類学論集』8 2007、pp 1-12
- 65 「京都東山太子堂考」『戒律文化第5号』戒律文化研究会、2007、pp82-96
- 66 「宝光院文書と宝光院文書目録」『山形大学大学院社会文化システム研究科紀要 第4号』、2007 pp51-101
- 67 「古の大寺を衰退から救った「釈迦にかえれ」の教え」『仏教新発見23西大寺』2007 pp 6-7
- 68 「慈悲の心で他人を救済した菩薩僧」『仏教新発見23西大寺』2007 pp22-23
- 69 「中国文明の力で京都に対抗した北条政権の戦略とは」『仏教新発見24建長寺円覚寺』2007 pp 6-7
- 70 「新発見の五点の中世浄住寺文書—中世安堵制に関する一考察—」『山形大学歴史・地理・人類学論集』第9号、山形大学歴史・地理・人類学研究会、2008 pp13-20
- 71 「勸尊教団と中世都市平安京」『戒律文化第6号』戒律文化研究会、2008 pp 1-29
- 72 「The Life of Eizon」(Translated by Ugo Dessi) 『THE EASTERN BUDDHIST』, Vol.39 No.2 2008、pp95-p123
- 73 「日本中世律宗の展開—伊勢弘正寺・円明寺を中心に—」『宗教研究』359、2009 pp371-372
- 74 「新たなる伊勢中世史像の再構築—謎の楠部大五輪と楠部弘正寺・岩田円明寺—」皇學館史學第24号、2009 pp 1-26
- 75 「京都洛西山田浄住寺境内絵図の現地比定について」(阿子島功と共著)『山形大学歴史・地理・人類学論集』10、2009 pp 1-10
- 76 「現代における仏教の役割—葬式仏教再考—」『現代と親鸞』第18号、2009 pp55-94

- 77 「八幡宮について—置賜地方の八幡宮についても触れつつ」『歴史と考古』第6号、2009年7月 (pp14-22)
- 78 「山形市宝光院と文殊菩薩騎獅像」『山形大学大学院社会文化システム研究科紀要 第6号』、2009 pp127-134
- 79 「日本民衆の生と浄土信仰 兜率天浄土と五輪塔」『東亜細亜文化と浄土信仰』東亜細亜仏教文化学会編、2009 pp53-67
- 80 「中世律宗と石造五輪塔—石塔の宗教思想史再考—」『第39回 三菱財団事業報告書 平成20年度』財団法人三菱財団、2009 pp463-464
- 81 「石塔の思想史—五輪塔を中心に—」『宗教研究』第83巻363、2010 pp1262-1263
- 82 「真田玉蔵坊文書と同文書目録」『山形大学人文学部 研究年報 第7号』、2010 pp121-170
- 83 「仏教者の社会活動」『新アジア仏教史12日本Ⅱ 躍動する中世仏教』、2010年5月 (pp141-186)
- 84 「Monotheistic Aspects in Japanese Buddhism Focusing on Honen and Shinran」
Monotheism in Asia (The University of Tokyo 2010) pp92-97
- 85 「Death and Buddhism in the Japanese Middle Ages: From the Standpoint of the Official Monks/ “Secluded” Monks Paradigm of Japanese Buddhism in (THE EASTERN BUDDHISM), Vol.41・No.2・2010 pp72-96
- 86 「Monotheistic Aspects in Japanese Buddhism」 (Monotheism in Asia) 2010 pp109-112
- 87 「叡尊教団の河内における展開—西大寺直末寺教興寺・寛弘寺と五輪塔—」(山形大学大学院社会文化システム研究科紀要 第8号) 2011 pp77-88
- 88 「最上義光をめぐる～新発見の文書を紹介しつつ～」『山形の魅力再発見パート9』2012 pp9-13
- 89 「中世叡尊教団の薩摩国・日向国・大隅国への展開—薩摩国泰平寺・日向国宝満寺・大隅正国寺に注目して—」『山形大学人文学部 研究年報 第9号』、2012 pp113-133
- 90 「鎌倉仏教と非人の救済」『差別と人権問題の正しい認識のために⑥』、熊本学園大学 (学内講演会記録)、2012 pp5-25
- 91 「コラム 中世律宗と文化」『日本思想史講座2—中世』、(株)ペリかん社、2012 pp112-115
- 92 「安達峰一郎と満州事変関係の新資料の紹介」『山形大学大学院社会文化システム研究科紀要 第9号』、2012年10月 (pp97-101)
- 93 「天皇から賜った紫衣の物語」『大法輪 知っておきたい天皇と仏教』、大法輪閣、2012 pp87-90
- 94 「日本仏教史における恵鎮門流の位置付け—伊予等妙寺にも触れつつ—」『平成24年度鬼北町歴史シンポジウム中世等妙寺—寺院創立の謎にせまる—講演・シンポジウム記録報告』、鬼北町教育委員会編集・発行、2013 pp1-11
- 95 「叡尊教団の紀伊国における展開」『山形大学人文学部 研究年報 第10号』、2013 pp1-26
- 96 「近世の仏教再考〈1〉近世仏教墮落史観の見直し」『大法輪6』、大法輪閣、2013 pp34-39

- 97 「河内西琳寺五輪塔と大和唐招提寺西方院五輪塔をめぐって—考古学と文献史学をつなぐ試み—」『戒律文化第8号』戒律文化研究会、2011 pp100-113
- 98 「近世の仏教再考〈2〉キリシタン禁制と宗門改・寺請制度」『大法輪7』、大法輪閣、2013 pp28-33
- 99 「近世の仏教再考〈3〉羽黒修験」『大法輪8』、大法輪閣、2013年8月、pp42-47
- 100 「近世の仏教再考〈4〉修験者の暮らし」『大法輪9』、大法輪閣、2013 pp42-47
- 101 「病の思想史」『岩波講座日本の思想 第5巻 身と心』岩波書店、2013 pp203-232
- 102 「近世の仏教再考〈5〉四国遍路再考」『大法輪10』、大法輪閣、2013 pp36-41
- 103 「近世の仏教再考〈6〉日本仏教と戒律」『大法輪11』、大法輪閣、2013 pp42-47
- 104 「中世叡尊教団と泉涌寺末寺の筑後国への展開～新発見の中世西大寺末寺帳に触れつつ～」『山形大学大学院 社会文化システム研究科紀要 第10号』、2013 pp69-81
- 105 「近世の仏教再考〈7〉光明寺本『遊行上人縁起絵』」『大法輪11』、大法輪閣、2013 pp42-47
- 106 「近世の仏教再考〈8〉最上義光と寺社」『大法輪1』、大法輪閣、2014 pp28-33
- 107 「近世の仏教再考〈9〉親鸞の妻」『大法輪2』、大法輪閣、2014 pp36-41
- 108 「近世の仏教再考〈10〉最上義光黒印状と寺社」『大法輪3』、大法輪閣、2014 pp28-33
- 109 講演録「第57回 智山教学大会講演 葬式仏教の誕生」『智山学報』第77号、2014 pp1-29
- 110 「最上義光文書の古文書学 判物・印判状・書状」『山形大学大学院社会文化システム研究科紀要』11、2014 pp1-25
- 111 「叡尊教団の豊後・豊前両国における展開」『山形大学歴史・地理・人類学論集 11』2015 pp1-28
- 112 講演録「親鸞伝再考」『新潟親鸞学会紀要』10集、2015 pp76-93
- 113 「関東祈禱所再考—禅・律寺に注目して—」『日本仏教総合研究』14号、2016 pp41-74
- 114 「日本仏教史上における忍性①」『六大新報第』4416号、2016 pp2-4
- 115 「日本仏教史上における忍性②」『六大新報第』第4417号、2016 pp2-4
- 116 「日本仏教史上における忍性（完）」『六大新報第』第4418号、2016 pp2-4
- 117 「親鸞伝再考～玉日姫は実在したのか」『第18回国際真宗学会論文集浄土教における自利と利他』2017 pp221-227
- 118 「鎌倉極楽寺流の成立と展開—初代から九代までの極楽寺歴代往持に注目して—」『山形大学大学院社会文化システム研究科紀要第十四号』2017 pp1-20
- 119 「中世叡尊教団の伯耆・因幡・出雲・石見四国における展開～国分寺等に注目して～」『山形大学歴史・地理・人類学論集』第19号、2018 pp61-76

その他（学会報告、書評、エッセイ、史料翻刻、辞典項目など）

- 1 史学会第75回大会報告「中世非人に関する一考察——鎌倉後期の畿内における非人支配」（『史学雑誌』86-12、1977）

- 2 書評「佐々木馨『中世国家の宗教構造』」（『史学雑誌』98-4）1989
- 3 「鎌倉新仏教教団をつくった叡尊——叡尊による戒律復興活動」『大法輪』57-9、1990
- 4 書評「黒田俊雄著『日本中世の社会と宗教』」（『週間読書人』1月14日号、1991）
- 5 「北条時頼と叡尊」『大法輪』58-5、1991
- 6 「『太平記』と恵鎮教団」『春秋』338、1992
- 7 「境内絵図のコスモロジー」『春秋』339、1992
- 8 「女性と鎌倉新仏教」『春秋』340、1992
- 9 「祖師絵伝と鎌倉新仏教」『春秋』341、1992
- 10 「黒衣と白衣」『春秋』342、1992
- 11 書評「入間田宣夫『武者の世に』」（『山形大学史学論集』13、1993）
- 12 「三戒壇」『都府楼』十五号、1993
- 13 「宗教進化のモデルについて」『春秋』347、1993
- 14 「和賀江津と光明寺」『春秋』348、1993
- 15 書評「平雅行著『日本中世の社会と仏教』」（『週刊読書人』5月24日号）1993
- 16 「鎌倉祇園会」『春秋』349、1993
- 17 史料翻刻「『溪嵐拾葉集』戒部」（『神道大系 論説編 天台神道（下）』）神道大系編纂会編
1993
- 18 「説教節『さんせう太夫』考」『春秋』351、1993
- 19 「戒律と鎌倉新仏教」『春秋』357、1994
- 20 書評「細川涼一著『中世の身分制と非人』」（『図書新聞』2233、1995）
- 21 書評「羽下徳彦編『中世の政治と宗教』」（『山形大学史学論集』15、1995）
- 22 書評「網野善彦著『悪党と海賊』」（『図書新聞』2255、1995）
- 23 「オウム真理教と鎌倉新仏教」『本』232、講談社、1995
- 24 「イニシエーションと勸進」『本郷』5、吉川弘文館、1996
- 25 書評「追塩千尋著『中世の南都仏教』」（『歴史学研究』681、1996）
- 26 「健康ブームと差別」『本の旅人』2-5、1996
- 27 「倫理か人情か」『アウローラ』1997
- 28 新刊紹介「寒河江市編『寒河江市史 慈恩寺中世史料』」（『山形新聞』平成9年10月11日号
1997）
- 29 「資料紹介1 足利直義軍勢催促状」『やまびこ』39、1997
- 30 書評「末木文美士著『鎌倉仏教形成論』」（『宗教研究』72-2、1998）
- 31 「資料紹介2 「中条家文書」の世界」『やまびこ』40、1998
- 32 「資料紹介3 「中条家文書」の世界 最も古い中条家文書」『やまびこ』41、1998
- 33 「資料紹介4 「中条家文書」の世界 北条時政発給文書」『やまびこ』42、1999
- 34 「叡尊教団の慈善活動」『中外日報』平成11年4月8日号、1999

- 35 「宗教進化のモデルをめぐって——共同体宗教と個人宗教」日本宗教学会第58学術大会(1999. 9)で口頭報告
- 36 「タイの仏教を旅して」『岩波ジュニア新書編集室通信』35、1999
- 37 「資料紹介5 「中条家文書」の世界」『やまびこ』43、1999
- 38 『仏教辞典』(岩波書店、2000年刊行予定)で編集担当とともに「戒壇」ほか300ほどの項目執筆
- 39 書評「西口順子編『仏と女』」『宗教研究』74-1、2000
- 40 「わが心の作品 井上靖の敦煌」『山形新聞』2000年8月2日
第24回 国際日本文学研究集会にて「説教節『小栗判官』の成立再考」という題で報告、2000年11月16日
- 41 書評「今谷明『中世奇人列伝』」『山形新聞』2001年12月9日他
- 42 『日本の仏教 第二期三巻 日本仏教の文献ガイド』(法蔵館、2001)に「太平記」「興正菩薩御教誡聴聞集」を執筆
- 43 「一杯のカレー」石井進先生を偲ぶ会編『であいの風景』新人物往来社、2002
- 44 「道元と救済思想」『禅といま』大本山永平寺、2002
- 45 「鎌倉仏教の新しさとはなにか」『春秋』443、2002
- 46 東京大学人文科学研究科博士論文審査員の委嘱を受ける。(2002年6月22日)
- 47 第4回 歴史・地理・人類学研究会で「四国遍路八十八札所の成立」を報告。(山形大学)2002年10月19日
- 48 『週刊再現日本史 鎌倉・室町2』(講談社)の「論争と謎」に『新版 鎌倉新仏教の成立』が紹介。2002年10月29日
- 49 「叡尊」『真理と創造』42、2002
- 50 『週刊再現日本史 鎌倉・室町6』(講談社)の「再現ドキュメント 日本が動いた日」に『太平記』に関するインタビュー記事が掲載さる。2002年11月26日
- 51 『仏教タイムス』の2003年1月1日付け「2002年の3冊」に執筆。
- 52 『山形新聞』の2003年1月5日付け「日曜随想」に「ロシア・シベリア紀行」を掲載。
- 53 「自著を語る」『Agora』3、2003
- 54 「中世都市鎌倉と環境」『環境保全』4、2003
- 55 「都市」と「地域」の学際的研究の拠点」『Future SIGHT』No.19、2003
- 56 『山形新聞』の2003年2月9日付け「日曜随想」に「ロシア仏教寺院訪問記」が掲載。
- 57 『山形新聞』の2003年3月16日付け「日曜随想」に「蛍の光に寄せて」が掲載。
- 58 『山形新聞』の2003年4月20日付け「日曜随想」に「情けは人のためならず」が掲載。
- 59 『山形新聞』の2003年5月25日付け「日曜随想」に「私を捨てないで」が掲載。
- 60 『山形新聞』の2003年6月29日付け「日曜随想」に「黒と白」が掲載。
- 61 『山形新聞』の2003年8月3日付け「日曜随想」に「大学改革と公開講座」が掲載さる。

- 62 『在家仏教』616号に「ロシア東シベリア紀行」を執筆。2003年9月1日。
- 63 『山形新聞』の2003年9月7日付け「日曜随想」に「スコットランド紀行」が掲載さる。
- 64 『山形新聞』の2003年10月12日付け「日曜随想」に「イギリスつれづれ」
- 65 『山形新聞』の2003年11月16日付け「日曜随想」に「ロンドンの漱石を想う」
- 66 『學燈』100号に「二十一世紀の日本仏教」を執筆。2003年11月。
- 67 『日本史文献事典』弘文堂、2003に「鎌倉新仏教の成立」他6項目を執筆
- 68 週刊『朝日百科 仏教を歩く11』の「叡尊」を執筆。2003年12月。
- 69 『山形新聞』の2003年12月21日付け「日曜随想」に「クリスマスとお葬式」が掲載さる。
- 70 『仏教タイムス』2004年1月1日号に「2003年今年の3冊」を執筆
- 71 『歴史学事典11』（弘文堂、2004）に「学林」など6項目執筆
- 72 「異国への架け橋——海外学究生活奮闘記」『Agora』36-1 2004
- 73 真宗インタビュー「親鸞と中世都市鎌倉」『真宗』2004年9月号
- 74 「叡尊寿像の背後に見えるもの」『本郷』52、2004
- 75 『仏教タイムス』2005年1月1日号に「2004年今年の3冊」を執筆
- 76 「鎌倉仏教の再発見」（『本郷』56 2005.3）
- 77 「叡尊と忍性」末木文美志・山折哲雄編『名僧たちの教え 日本仏教の世界』朝日新聞社、2005
- 78 「魔界都市鎌倉」『本郷』60 2005
- 79 『仏教タイムス』2006年1月1日号に「2005年今年の3冊」を執筆
- 80 書評「小島毅『近代日本の陽明学』」『岩手日報』2006年9月9日
- 81 書評「小島毅『近代日本の陽明学』」『高知新聞』2006年9月10日
- 82 書評「小島毅『近代日本の陽明学』」『福井新聞』2006年9月10日
- 83 書評「小島毅『近代日本の陽明学』」『北國新聞』2006年9月10日
- 84 書評「小島毅『近代日本の陽明学』」『山陽新聞』2006年9月10日
- 85 書評「小島毅『近代日本の陽明学』」『山形新聞』2006年9月17日
- 86 日本宗教学会第65回学術大会（2006.9.17）にて、「戒と死」というテーマでパネル報告
- 87 山形大学人文学部人文ニュースAgora第38巻-2号「海外研修を終えて」2006年10月1日
- 88 講演「中世都市と律宗の関係—博多と博多大乗寺を中心に」、大谷大学真宗相互研究所開設25周年記念シンポジウムにて2006年10月7日
- 89 「日本におけるエンバーミングの夜明け」『在家佛教』第55巻-654号（社）在家佛教協会2006年11月1日
- 90 『仏教タイムス』2007年1月1日号に「2006年今年の3冊」を執筆
- 91 「仏教における戒と死」『宗教研究』80-4、173、2007
- 92 講演「羽黒山中世史再考」（山形大学都市・地域学研究所公開講座山形の魅力再発見パート4報告集 2007、3）

- 93 報告「羽黒修験と中世奥羽—新史料からみた出羽三山史—」(山形大学人文学部プロジェクト研究 公開学術報告会)、2007年10月20日
- 94 テレビ放送「タイムスリップ伴大納言絵巻」NHKBSハイビジョン2007年11月に出演
- 95 事典執筆 網野善彦著「無縁・公界・楽-日本中世の自由と平和」『宗教学文献事典』弘文堂、2007年12月 (pp11)
- 96 事典執筆 松尾剛次著「新版 鎌倉新仏教の成立—入門儀礼と祖師神話」『宗教学文献事典』弘文堂、2007年12月 (pp367)
- 97 事典執筆 横井清著「的と袍衣—中世人の生と死」『宗教学文献事典』弘文堂、2007年12月
- 98 書評 竹田和夫著「五山と中世の社会」『日本歴史』718吉川弘文館、2008年3月 (pp113-115)
- 99 資料紹介5「中条家文書」の世界Ⅱ-1」『やまびこ』第60号、2008年3月
- 100 講演「新たな伊勢中世史像の再構築—謎の古市大五輪と楠部弘正寺・岩田円明寺」(皇學館大学)、2008年4月25日
- 101 講演「親鸞聖人と叡尊—戒律をめぐる二つのベクトル—」(大谷大学)、2008年5月31日
- 102 「子供と遊ぶ禅僧良寛」『別冊太陽153 良寛 聖にあらず、俗にもあらず』平凡社、2008 pp52-54
- 103 講演「中条家文書の世界」(山形大学人文学部)、2008年11月5日
- 104 講演「羽黒修験の新発見」(いでは文化講演会)、2008年11月9日
- 105 書評「兵藤裕己著『琵琶法師—(異界)を語る人びと』」『山形新聞』2009年5月31日
- 106 講演「観る光らず山形～過去から未来へ～」(山形県生涯学習センター 平成21年度「山形学」フォーラム)、2009年6月6日
- 107 書評「高橋慎一朗／千葉敏之著『中世の都市』」『山形新聞』2009年6月28日
- 108 「直江兼統 素顔に迫る兜の「愛」の意味」『山形新聞』2009年7月15日
- 109 書評「峰岸純夫著『足利尊氏と直義 京の夢、鎌倉の夢』」『山形新聞』2009年7月26日
- 110 講演「日本仏教と文化—葬式仏教の誕生—」(山寺芭蕉記念館)、2009年8月1日
- 111 書評「森正蔵著『解禁 昭和裏面史』」『山形新聞』2009年8月23日
- 112 講演「山をおりた親鸞」(響学舎 山形教務所)、2009年9月10日
- 113 研究発表「石塔の宗教思想史 五輪塔を中心に」(京都大学 日本宗教学会)、2009年9月11日～13日
- 114 書評「光成準治著『関ヶ原前夜』」『山形新聞』2009年9月13日
- 115 解説「破戒の日本仏教史石田瑞麿著『女犯』」筑摩書房、2009年9月
- 116 記事「著者に会いたい 松尾剛次」『ひとりふたり』第112号、法蔵館、2009年9月 (pp18-19)
- 117 講演「唐招提寺證玄五輪塔と西琳寺惣持五輪塔をめぐる」(奈良 唐招提寺)、2009年11月8日
- 118 書評「小島 道裕著『描かれた戦国の京都 洛中洛外図屏風を読む』」『山形新聞』2009年10月11日

- 119 中国 武漢大学にて集中講義「日本仏教の特徴」2009年10月13日～15日
- 120 福島県立喜多方高等学校にて出張講義「知的向上心のための講義（史学分野）」2009年10月23日
- 121 書評「安田次郎著『寺社と芸能の中世』』『山形新聞』2009年11月1日
- 122 講演 “Death and Buddhism in the Middle Ages From the Standpoint of the System Model of Official Monks and Reclusive Monks” (ミシガン大学Center for Japanese Studies)、2009年11月12日
- 123 秋田県立秋田中央高等学校にて出張講義「歴史学への誘い」2009年11月26日
- 124 講演「日本民衆の生と浄土信仰」（釜山東亜大 東アジア学会学術大会）、2009年11月28日
- 125 書評「水藤真著『中世の葬送・墓制』』『山形新聞』2009年12月6日
- 126 記事「仏教・宗教関係書 今年の3冊（2009）」『週刊仏教タイムス』2009年12月10日
- 127 講演「中世都市奈良と律寺—平安京・鎌倉と比較しつつ—」（キャンパスプラザ京都 日本史研究会）、2009年12月26日
- 128 「戒の力で末世に挑んだ遁世僧 叡尊」『歴史読本 新春特別号』新人物往来社、2010 pp76-81
- 129 書評「山本博文著『江戸に学ぶ日本のかたち』』『山形新聞』2010年1月10日
- 130 対談録「墓石とは死の文化」『月刊 石材 Vol.352』2010年1月15日
- 131 書評「堀新著『日本中世の歴史7 天下統一から鎖国へ』』『山形新聞』2010年2月7日
- 132 山形県立新庄北高等学校3年生2名の研究指導を実施 2010年3月
- 133 講演「葬式仏教の歴史と課題—現代宗教における葬儀の意義を考える—」（富山東別院会館 富山教区教化委員会 寺族研究小委員会）、2010年4月6日
- 134 記事「伊勢弘正寺の巨大五輪塔（前）」『月刊 石材 Vol.354』、2010年3月15日（pp36-40）
- 135 書評「兵藤裕己著『〈声〉の国民国家 浪花節が創る日本近代』』『山形新聞』2010年3月21日
- 136 書評「馬場基著『平城京に暮らす 天平びとの泣き笑い』』『山形新聞』2010年4月11日
- 137 特別寄稿「伊勢弘正寺の巨大五輪塔（後）」『月刊石材vol. 355』2010年4月15日
- 138 書評「桜井義秀著『死者の結婚 祖先崇拜とシャーマニズム』』『山形新聞』2010年5月9日
- 139 監修「日本仏教の歴史を読み解く」「日本の仏教13宗の総本山・大本山を訪れる」『一個人』2010年7月
- 140 講演「鎌倉仏教と非人の救済」（熊本学園大学 差別と人権に関する委員会）、2010年7月2日
- 141 書評「川口マーン恵美著『ベルリン物語 都市の記憶をたどる』』『山形新聞』2010年6月13日
- 142 書評「高橋典幸著『源頼朝東国を選んだ武家の貴公子』』『山形新聞』2010年7月11日
- 143 模擬講義「オープンキャンパス『ジブリ作品と宗教学』』『人文学部103教室』2010年8月8日
- 144 書評「島菌進著『国家神道と日本人』』『山形新聞』2010年8月15日

- 145 山形美術館にて親鸞展ギャラリートークを行った2010年8月22日
- 146 「聖徳太子」『やすらぎ通信2010年夏・秋号』ユーキャン出版事業部、2010年8月
- 147 書評「末木文美士『近世の仏教』華ひらく思想と文化」『山形新聞』2010年9月5日
- 148 「宗教学事典」『もの乞い・托鉢』『説経・唱導・勸進』MARUZEN、2010年10月
- 149 書評「浅古弘・伊藤孝夫・植田信広・神保文夫編『日本法制史』」『山形新聞』2010年10月24日
- 150 講演「山形夜話」(コンソーシアム山形)2010年11月10日
- 151 公開講座「山形の魅力再発見パート8」(安達峰一郎記念対賢堂、山形大学人文学部205教室、庄内バスツアー)10月16日・30日・11月7日
- 152 書評「三宅和朗著『時間の古代史～靈魂の夜、秩序の昼～』」『山形新聞』2010年11月21日
- 153 「最澄」『やすらぎ通信2010年冬号』ユーキャン出版事業部、2010年12月
- 154 「仏教・宗教関係書 今年の3冊2010」『週刊仏教タイムズ』2010年12月9日
- 155 歴史教室「奥州藤原氏と出羽の国」(平泉文化遺産センター)2010年12月16日
- 156 書評「福島金治著『北条時宗と安達泰盛』」『山形新聞』2010年12月19日
- 157 書評「三上喜孝・藤森健太郎著『Jr. 日本の歴史2～都と地方のくらし～』」『山形新聞』2011年1月23日
- 158 書評「本多隆成著『定本 徳川家康』」『山形新聞』2011年2月20日
- 159 書評「C・ヨルゲンセン、M・F・パヴコヴィック、R・S・ライス、F・C・シュネイ、C・L・スコット『戦闘技術の歴史 近代編』」『山形新聞』2011年4月3日
- 160 「そうだったのか日本仏教」『大法輪』2011年4月
- 161 「別冊太陽 日本のこころ182『名僧でたどる日本の仏教』」『(株)平凡社』2011年5月8日
- 162 「人はなぜ墓を建てるのか」『本郷』No. 93、吉川弘文館、2011年5月
- 163 書評「大塚紀弘著『中世禅律仏教論』」『史學雑誌第120遍 第6号』2011年6月15日
- 164 書評「堺屋太一著『三人の二代目』」『山形新聞』2011年6月19日
- 165 書評「平雅行著『歴史のなかに見る親鸞』」『図書新聞』2011年7月2日
- 166 「法然」『やすらぎ通信2011年夏・秋号』ユーキャン出版事業部、2011年8月
- 167 対談「こだわりアカデミー」『アットホームタイム』2012年1月20日
- 168 「やまがた再発見 84、安達峰一郎 上」『山形新聞』2012年2月5日
- 169 「やまがた再発見 85、安達峰一郎 中」『山形新聞』2012年2月12日
- 170 「やまがた再発見 86、安達峰一郎 下」『山形新聞』2012年2月19日
- 171 書評「藤田和敏著『(甲賀忍者)の実像』」『山形新聞』2012年3月18日
- 172 「仏教人物伝 道元」『ユーキャン出版事業部 やすらぎ通信 2012春号』2012年4月10日
- 173 シンポジウム「親鸞聖人の御生涯を再考する」(専修寺内 高田会館ホール)2012年4月14日
- 174 書評「久野修義著『重源と栄西』」『山形新聞』2012年6月10日
- 175 監修「奈良仏教南都六宗の謎」『一個人』2012年9月号

- 176 書評「ルチア・ドルチェ, 松本郁代編『儀礼の力』『宗教研究』第86巻373-2、2012年9月
- 177 書評「久野修義著 日本史 リブレット人027『重源と栄西-優れた実践的社會事業家・宗教者』『日本史の研究』238、pp45-48、2012年9月
- 178 講演「ジブリ作品と宗教学」市中教研1日研修会 2012年9月12日
- 179 講演「親鸞伝再考」本願寺布教講師会 2012年9月13日
- 180 書評「前川健一著『明恵の思想史的研究-思想構造と諸実践の展開』『日本思想史学』第44号、2012年9月
- 181 書評「関幸彦著『承久の乱と後鳥羽院』『山形新聞』2012年10月21日
- 182 講演「日本仏教における恵鎮教団の位置づけ」愛媛県宇和郡鬼北町 2012年11月3日
- 183 書評「元木幸一著『笑うフェルメールと微笑むモナ・リザ』『山形新聞』2012年12月2日
- 184 『週刊仏教タイムス』2012年12月13日号に「仏教・宗教関係書 今年の3冊 2012」を執筆
- 185 書評「池上裕子著『織田信長』『山形新聞』2013年1月20日
- 186 栃木県立大田原女子高等学校にて模擬講義を行う 2013年1月22日
- 187 監修「奈良仏教南都六宗の謎」『仏教宗派入門』『一個人 別冊』2013年2月
- 188 講演「親鸞伝再考」(新潟県立歴史博物館) 2013年3月1日
- 189 書評「柴田純著『日本幼児史』『山形新聞』2013年3月17日
- 190 『親鸞の生き方を学ぶ』会報(第50号) pp21-29、山形刑務所篤志面接委員協議会2013年3月1日
- 191 書評「追塩千尋著『中世南都仏教の展開』『史学雑誌』第122編第3号、2013年3月20日
- 192 書評「岩本由輝編『歴史としての東日本大震災』『山形新聞』2013年5月5日
- 193 講演「最上義光が生きた時・空」『山形の魅力再発見パート11』2013年10月5日
- 194 「日本仏教史の変容」『佛教タイムス』2014年1月9日・16日合併号
- 195 書評「入間田宜夫・菊地和博編『講座東北の歴史第5巻 信仰と芸能』『山形新聞』2014年3月30日
- 196 監修「直江兼統の新たな書状発見!」『歴史人』2014年4月号
- 197 「日本の聖地と巡礼」『仏教の事典』朝倉書店 2014年4月20日 第68回毎日出版文化賞受賞
- 198 NHKラジオ全国版「宗教の時間、葬式と仏教」出演 2014年9月7日(8時30分-9時) 9月14日(18時30分-19時)
- 199 「光明寺本『遊行上人縁起絵』をめぐると謎を解く」『歴史館だより』2014年3月発行No.21
- 200 書評「森謙二著『墓と葬送のゆくえ』『山形新聞』2014年12月21日
- 201 書評「小山聡子著『親鸞の信仰と呪術:病氣治療と臨終行儀』『宗教研究』2014 pp764-769
- 202 書評「五木寛之著『親鸞 完結編』『山形新聞』2015年1月18日
- 203 書評「高橋義夫著『保春院義姫』『山形新聞』2015年3月1日
- 204 書評「藤田恒春著『豊臣秀次』『山形新聞』2015年4月12日

- 205 「寺子屋子ども大学特別授業『ナスカの地上絵を体験しよう!』を終えて」『うえるかむ』第62号 2015年6月17日
- 206 書評「新谷尚紀著『葬式は誰がするのか—葬儀の変遷史』」『山形新聞』2015年8月9日
- 207 出前講義岩手県立大船渡高校 2015年10月20日
- 208 書評「関雄二編『古代文明アンデスと西アジア神殿と権力の生成』」『山形新聞』2015年12月6日
- 208 日本仏教総合研究学会の国際シンポジウムにおいて「関東祈祷所再考」と題して研究報告、2015年12月12日
- 209 「忍性によるハンセン病患者の救済 鎌倉版マザー・テレサ」『生誕800年記念特別展図録 忍性救済に捧げた生涯』(奈良国立博物館・読売テレビ・読売新聞社、2016) pp202-205
- 210 「山形学」講座「小説にみる山形」コーディネーターを務める2016年7月30日
- 211 2016年度オープンキャンパス模擬講義「ジブリ作品と日本宗教史」を行う2016年7月30日
- 212 書評「河野真知郎『鎌倉考古学の基礎的研究』」(『日本歴史』八二一号)、2016
- 213 「3分骨は弥勒三会信仰に関係 忍性再考—忍性三骨臓器と弥勒信仰」『中外日報』2016年10月28日
- 214 書評「亀田俊和著『足利直義 下知、件のごとし』」『山形新聞』2016年11月13日
- 215 「最上三代 その栄光と蹉跌(1)」yamacomい 248号 2017年1月13日号
- 216 「最上三代 その栄光と蹉跌(2)」yamacomい 249号 2017年1月27日号
- 217 「最上三代 その栄光と蹉跌(3)」yamacomい 250号 2017年2月10日号
- 218 「最上三代 その栄光と蹉跌(4)」yamacomい 252号 2017年3月10日号
- 219 「最上三代 その栄光と蹉跌(5)」yamacomい 253号 2017年3月24日号
- 220 書評「武内涼著『駒姫』」『山形新聞』2017年3月12日
- 221 「最上三代 その栄光と蹉跌(6)」yamacomい 254号 2017年4月14日号
- 222 書評「高橋義夫著『さむらい道』」『山形新聞』2017年4月23日
- 223 「最上三代 その栄光と蹉跌(7)」yamacomい 256号 2017年5月12日号
- 224 「最上三代 その栄光と蹉跌(8)」yamacomい 257号 2017年5月26日号
- 225 書評「十川陽一著『天皇側近たちの奈良時代』」『山形新聞』2017年5月31日
- 226 書評「末木文実士著『親鸞—主上臣下、法に背く—』」『宗教研究』第91巻2017年6月日
- 227 「最上三代 その栄光と蹉跌(9)」yamacomい 258号 2017年6月9日号
- 228 「最上三代 その栄光と蹉跌(10)」yamacomい 259号 2017年6月23日号
- 229 18th Biennial Conference of the International Association of Shin Buddhist Studies, 国際会議, 2017年06月~2017年07月, 武蔵野大学, 親鸞伝再考—玉日姫は実在したのか, 口頭(一般)
- 230 「最上三代 その栄光と蹉跌(11)」yamacomい 260号 2017年7月14日号

- 231 書評「柳原正治、篠原初枝編『安達峰一郎—日本の外交官から世界の裁判官へ』」『山形新聞』2017年7月26日
- 232 「最上三代 その栄光と蹉跌 (12)」yamacomい 261号 2017年7月28日号
- 233 「最上三代 その栄光と蹉跌 (13)」yamacomい 261号 2017年8月11日号
- 234 「最上三代 その栄光と蹉跌 (14)」yamacomい 261号 2017年8月25日号
- 235 「仏教書・関連書 今年の3冊2017」『週刊佛教タイムス』2017年12月14日
- 236 「叡尊による西大寺中興の意義とは」第7回『六大新報』2017年12月15日
*yamacomいと『六大新報』には2018年12月現在も連載中
模擬講義「オープンキャンパス『ジブリ作品と宗教学』」を2010年より2018年まで毎年行った。

地域連携

山形学企画委員として山形学講座の企画を行った。また、都市地域学研究所の所長として山辺町と連携して、「山形偉人再発見プロジェクト」を行い、「安達峰一郎記念世界平和弁論大会」などを実施。

賞 罰

- 2014年7月 山形市制施行125周年 山形市市政功勞者（教育、文化等功勞）として表彰。
- 2016年度「山形公益大賞」において「寺子屋子ども大学（代表 松尾剛次）」が公益大賞受賞。
- 2018年度 国際ソロプチニスト山形より「寺子屋子ども大学（代表 松尾剛次）」が表彰。